

修
猷
ル
ー
ル



六一会編

Shuyu's Rules

* 修猷ルール

Shuyu's Rules

当時は気づかなかったけれど、
今振り返ると、「あれってヘンだったよね」と笑える、
また当の修猷生はフツーだと思っていたけれど、
まわりから見ると奇怪に見えた(?)、
もしくは想像不可能な(?) 修猷館のしきたりや習慣。
それが「修猷ルール」。

ただし、これは、あくまで私たち六一会が
在校生だった当時のルールを基準にしています。
先輩方の時代には存在しなかったこと、
時代とともに変わってしまったものも
なかにはあるでしょう。
ただ、ひとつの時代の修猷の姿として
とらえていただければ、
そして、みなさんの時代の修猷を思い出す
きっかけにいただければ幸いです。

＊
ルール
1

**入学直後、
とんでもないところに
来たことに気づく**

初日からいきなり「おまえら、なめとらんか？」などと恫喝され、びびりまくる……。名門修猷館に入学した喜びなど、吹き飛ばされるオソロシイ行事、それが修猷名物「応援(歌)練習」。午前中の授業が終わるや否や太鼓の連打の音が響くなかを講堂へ猛ダッシュ。コワモテの応援団の先輩たちのするどい視線を感じながら、胸をそらし、応援歌を歌うというよりも叫ぶ。「自分はこんなことをやるために、一生懸命勉強してきたのだろうか……」と情けなくなる。大げさではなく、気を抜くと先輩に殺される……と本気で心配しました。地獄の1週間を過ごした最終日、鬼より怖いと思っていた応援団長の言葉に思わず涙。

「お前ら、 これでホンモンの修猷生たい！」



こういうコワそうな人たちに指導される

解説:「応援(歌)練習」というのは通称で、正式名称は「応援歌指導」。現在も応援歌指導は行われていますが、最近はなんと、応援団のほうがかくクラスの教室に出向き、クラスごとに指導が行われるとか。6時間目が終わると応援団員がものすごい剣幕で教室に飛び込んでくるのだそう。(教室での練習のあと講堂に移動して全体練習が行われる日もあります。)罵声を浴びながら……という形式は変わらないようですが、入学式直後、保護者に対し、「殴る、蹴るということはないが、強い想いのため、かなり厳しい言葉を浴びせかけることもある」ことへの理解を求める説明が行われています。

応援団は応援部で組織されていますが、応援歌指導の際には指導委員という助っ人が参加。新入生は恐ろしさのあまり、全員が応援部だと思っ込んでしまっますが、じつは、指導委員のほうが多かったりします。最近は応援部の人数が極端に少なく(現在は男女合せて5人程度……)、指導委員集めにも苦勞しているそうです。

なお、毎年3月には「応援歌伝承会」として、OBが在校生に応援歌を指導・伝承する会が行われています。30年以上続いている伝統行事で、80歳を超える先輩が、「お前たちの歌い方は、なっとらん！」と熱血指導されています。



Shuyukan
Senior High School



ルール

2

生徒手帳がない。 厳しい校則もない

生徒手帳の代わりに渡されるのは、生徒証明書というペランとしたカード。厳しい校則はなく、何ごとに関しても、生徒の自主性を尊重したありがたーい校風でした。(応援練習の時は、「なんで先生はこんなオソロシイことをやめさせようとしないんだらう……」とじつは思っていたりしましたが……。) ただし、「生徒心得」として“高校生らしさ”は求められていました。

“高校生らしさ”をうっかり逸脱した例

紙袋で登校 (さすがに「やめとけ」と注意された)

パーマ (ものすごく怒られたという人も多数)

男子の「赤い靴」 (白木英治先生基準)

女子の「黒い靴および黒い靴下」 (大塚宏子先生基準)

解説：現在も生徒手帳や厳しい校則はありません。“高校生らしさ”は時代とともに変化し、ロン毛の男子学生も見られるそうです。なお、携帯電話の校内での使用に関しても特に規制や規則はなく、生徒の常識的な判断にまかされています。

＊
ルール
3

**諸事情で授業が
繰り上がる、
「モーカリ制度」がある**

これぞ、「ザ ルール オブ 修猷」！ 先生が休み、という理由はともかく、交渉次第でも成立したのがこのルールのすごいところ。うまくいけば「2 モーカリ」というのも、本当にあった。モーカリを勝ち取って教室に戻ってくるクラス委員にはクラス中から絶賛の声があがっていました。モーカリのぶんは、いずれソンカリで補充されるんですけどね……。

解説：全盛期（？）には「3 モーカリ」「4 モーカリ」「土曜全モーカリ」などというのも存在したというこの「モーカリ制度」、県の教育委員会で問題視され、じつは昭和 57 年に廃止になっていたのだとか。つまり六一会が在校時に体験したモーカリは非公式のもので、完全に消えてなくなる前の残り香のようなものだったのです。モーカリを経験できたのは昭和 63 年卒の修猷生まで。つまり平成元年卒以降はみな「モーカリを知らない修猷生」というわけですね。なお、モーカリ黒板は修猷資料館に保存されています。



モーカリ黒板を見る修猷生



ルール

4

校長ではなく、 あくまで館長である

そして「校歌」ではなく、あくまでも「館歌」である。

解説：もちろん現在も「校長」「校歌」ではなく、「館長」「館歌」と呼ばれています。



ルール

5

床に油を引く

どろどろした茶色い液体を床に塗る行事。それが「油引き」。塗ったあとも、「キレイになった感」があまり感じられないのも大きな特徴。それどころか、うっかり物を床に落とすとものすごく汚れるのである。

解説：なんとこの「油引き」、新校舎になった現在も続いています！実際は、ワックス掛けですが、「油引き」という名称は引き継がれるとか。ちなみに、校舎内は今も土足です。

★
ルール
6

修学旅行がない

修学旅行といえば、普通は高校行事の花、のはず。それが修猷には存在しませんでした。

入学当初、その理由は「運動会があるからだ」と先輩から聞かされても、全然意味がわからないのだけど、翌年後輩から同じ質問をされると、堂々と同じように答えている。ああ、それが修猷生。



修学旅行はないけど、「霧島登山」(2泊3日で2峰に登るとんでもない行事)はありました

解説：修猷新聞 200 号（昭和 57 年 2 月号）によると、昭和 16 年くらいまでは修学旅行が行われていたとか。しかし国際情勢が悪化するに従い自然消滅。戦後も実現を望む声があがるものの、学校行事（運動会や文化祭）に割く時間との兼ね合いもあり、いまひとつ盛り上がりには欠け、「修学旅行がないのも修猷らしさ」とある意味あきらかに似たムードが長きにわたり漂っていました。

しかし、平成に入ってから復活し、現在は 2 年生の冬に実施されています。ただし、「修学旅行」の名称は使わず、「研修旅行」と呼ばれているとか。観光だけでなく、宿泊ホテルでの講演会、討論会などが必ず併せて行われているそうです。また、希望者対象の「東京研修旅行」、また同窓会の支援による選抜生徒の「海外研修旅行」も実施されています。

2012 年 1 月の研修旅行は当初の予定を変更し、東北の被災地（宮城県）を訪問しました。これは「被災地の現状を直接見ることも大切だ」という理由による決断で、メディアにも取り上げられています。現地では石巻日日新聞や、津波を受けたあとの火災で校舎が焼けた小学校などを訪問したほか、仮設住宅に住む被災者やボランティア活動をする人から話を聞いたり、仙台一高の生徒たちと交流したりしたのだそう。東北地方への修学旅行が避けられるなかのこの決断もまた「修猷魂」といえるのではないのでしょうか。



**Shuyukan
Senior High School**

★
ルール
7

水泳大会では「雑魚リレー」 がいちばん盛り上がる

こんな差別的な競技名にもかかわらず、水泳大会の花形種目！ ぐ
ていねいに「雑魚リレーⅠ」「雑魚リレーⅡ」とふたつの種目があり、
途中で立ってもOKというゆるいルールのなか、最高の盛り上がり
をみせました。ちなみに、修猷のメドレーリレーの種目は、「背泳ぎ」「平
泳ぎ」「クロール」と、なぜか「潜水」(笑)！



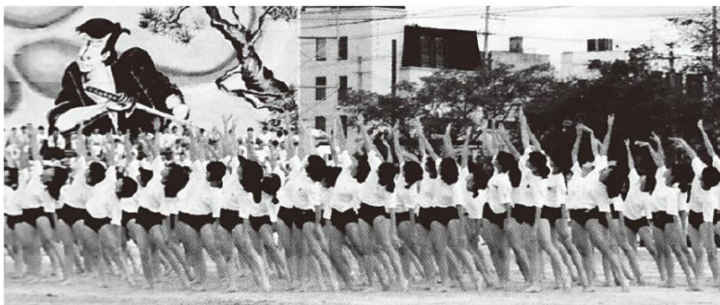
解説：正式には「水泳クラス
マッチ」。ただし、現在「水泳
クラスマッチ」は行われてい
ません。当然、「雑魚リレー」
もありません。残念！

類似語：運動会における「あ
ぶらむし」＝タンブリングの
補充人員。

✳
ルール
8

「運動会」バカである

「修猷館イコール運動会」。夏休み返上でその準備に取り掛かり、9月に入ると授業までも短縮されるという、これこそが、ほかの学校では絶対にありえない姿。運動会を理由に授業に身が入らないことさえも、黙認されていた（と思う。あれ？ 違いますか？）



解説：現在も変わらず、修猷生は「運動会バカ」です。運動会自体のイメージはやや変わったという声もありますが、それは男女比の変化によるものも大きいかもしれません。現在の修猷館は男女の比率がほぼ半々。ゆえに男子タンブリングは六一会当時よりコンパクトになり、1・2年女子による「大帽走」という帽子をつなぐ10人11脚リレーという新種目が登場しています。

★
ルール
9

「運動会」のことを 「体育祭」と呼ばれると 必ず「運動会!」と言い直す

「祭りではない!」というのがその理由である。
相手が何度同じ間違いを犯したとしても、根気強くその都度訂正する。

解説: 正式には「修猷館大運動会」なので、「大運動会」という呼び方にこだわる人も。ただし、このこだわりは年々薄れている様子で、2011年9月の大運動会パンフレットタイトルは、「64 TH SHUYU SPORTS DAY」。平成っ子は「運動会」の呼び方にそこまでこだわっていないのかもしれませんが(笑)。

★
ルール
10

ブロックが決まるとまず、 身長、体重、100mのタイムなどの 個人データを全員が提出する

「個人情報」などという言葉も知らない時代(笑)。

解説:ブロック分けのあと、「誰をどの競技にエントリーさせるか」「タンプリングの位置決め」を目的としたデータ収集が行われました。とくにタンプリングの位置は体格を考慮する必要があるため、男子は腕の長さや太さといった細かい数値まで申告します。この「個人情報」の提出は現在も変わらず行われているようです。

★
ルール
11

運動会の前には、「石ひろい」という 地味なイベントがある

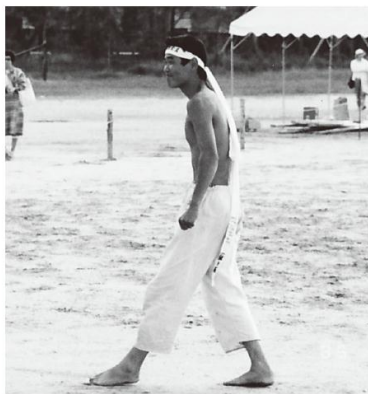
運動会は裸足で行うため、ケガ防止のために欠かせないイベント。ブロック長も1年生もみんなひたすらに石を拾いました。

解説：現在も「石ひろい」は健在！ それどころか、石ひろいも含めた運動会練習環境や作業場所の整理・整頓のことを「美場^{びば}場」と呼び、各ブロックに「美場長」という大幹ポストがあります。

★
ルール
12

「ブロック長」は下級生にとって、 「よくわからんけどスゴイ人」である

ブロック長でなくても、「幹部」と名のつく人は尊敬していました。



「よくわからんけどスゴイ人」

解説：コワモテ系のブロック長、フレンドリーなブロック長など個性はさまざまでしたが、「憧れのリーダー」だったことは間違いありません。六一会の時代では想像できませんが、最近は女性ブロック長も誕生し、ブロックによっては、大幹部の半分以上が女性というケースもあるのだとか。「幹部」のイメージは明らかに変わっているようです。

✳
ルール
13

短距離走やリレー競技は 運動会の花形、とは言えない

陸上競技は、陸上 α 、 β 、 γ などと、シャレた名前と呼ばれていて、当日は確かに盛り上がるけれども、本来なら花形であるこれらの競技は、修猷運動会においては、あくまでも脇役。修猷の場合、運動会の花は、なんといっても、応コン（応援コンテスト）、タンブリング、女子ダンス、男子エール、女子エール。全員参加の競技こそが、修猷運動会の醍醐味だった、と言えるのかもしれませんが。でも、よくよく考えたら、応援がメインイベントの運動会っていったい……（笑）。



Shuyukan
Senior High School

プログラム	
	()内は開始予定時刻
1 開会式 (8:00)	10 全体行進
2 陸上α (8:29)	11 応援コンテスト
3 騎馬戦(予選) (8:58)	12 綱引き(決勝)
4 棒引き(予選) (9:17)	13 棒引き(決勝)
5 タンブリング (9:29)	14 陸上β
6 エール (10:06)	15 棒倒し
7 大回転 (10:22)	16 創作ダンス (14:07)
8 綱引き(予選) (10:35)	17 騎馬戦(決勝) (14:33)
9 昼休み (10:45)	18 エール (14:56)
	19 陸上γ (15:05)
	20 閉会式 (15:25~15:50)



昭和60年度 修猷大運動会 基本方針

Our Possibility

1. 全員参加を原則とする。(4ブロック対抗形式)
2. 運動会の企画、運営は生徒の手で行う。
3. 安全・風紀をはじめ、運動会に関する一切の問題は、ブロックと運営委員会及び執行部が協力し解決にあたる。
4. 運動会は、スタンド建設をはじめ関係者の方々の多方面にわたる御厚意と御尽力によって成り立っていることを各自肝に銘じ、運動会の成功と修猷の向上をもってこれに応える。
5. 時間・費用は節約し、計画性をもって活動する。

修猷大運動会のプログラム(昭和60年)。誤植か!?と思わせる分刻みの律儀なスケジュールも特徴。しかも実際にこの通りに進行する。これもひとえに運動会運営委員(緑ブロック)の努力のたまもの。分刻み進行は現在も健在!

解説:現在の運動会陸上競技種目は、陸上α(600mリレー、900mリレー、1200mリレー)、陸上β(障害物リレー／お笑い要素あり)、陸上γ(スウェーデンリレー、ブロック対抗リレー)。以前よりも、充実している模様です。

★
ルール
14

運動会の男子の ユニフォームは 上半身裸＋柔道着下

剣道選択だったゆえ、わざわざ買ったという人も。ちなみに、女子は白のTシャツにブルマ。しかも、シャツの裾はブルマにイン(笑)。ただし時代のせいではなく、激しい動きでお腹が見えないように配慮された、運動会の時だけのスタイルです。



運動会の正しいスタイル(男子)

解説：前年の幹部の柔道着下を引き継いで履いてたという人も。相当汚れも染みついていたでしょうに(笑)、当時はそれを誇らしく履いていました。この男子の“ユニフォーム”は今も変わらず。ただし、女子は、

白のTシャツに黒か濃紺の短パンというスタイルに変わりました。ダンスの時には、黒のダンス用スカートスパッツ(しかもスカート部分に白い六光星のワンポイント入り!)というおっしゃれーなものを着用しているようです。

★
ルール
15

運動会の練習の時に飲む バケツカルピスは 死ぬほどウマイ!

バケツカルピスの作り方／六一会バージョン

—用意するもの—

バケツ
ひしゃく
カルピス
水（水道水でOK）
氷（古賀商店で購入）



—作り方—

バケツ（キレイに洗いましょう）にカルピスを入れ、水を注いで氷を浮かべればできあがり。濃すぎても薄すぎても苦情が出るので注意。ひしゃくで直飲みするもよし、上品に紙コップに注いで飲むもよし。

～アレンジ～

ピーチネクターを1本加えるとより奥行きのある味に。

解説：バケツカルピスは現在も健在。かつてはなんの迷いもなく水道水で作っていましたが、今はペットボトルの水で作っているそうです。



ルール

16

PL学園の人文字を見ると イラっとする

自分たちのほうが絶対スゴイ！と信じてやまない。



解説：修猷生の悲願、それは甲子園での応コン披露。もし修猷館対PL学園というカードが実現したら、スタンドのほうが白熱しそう!? 1988年に福岡第一高校が甲子園で人文字を披露しましたが、その時使われたパネルは修猷が提供した応コンパネルを模して作られたものだったとか。



ルール

17

卒業後の会話の糸口は 「何ブロックだったっけ？」

何組だったかは覚えてなくても、ブロックの色だけは覚えている。
重要なのは3年生のときのブロックの色である。

解説：卒業後何年たっても、運動会の話で盛り上がるのは、日本広しと言えども我が同窓生だけでしょう。



ルール

18

運動会の翌日、 ※ 共通一次まで4か月を 切っている現実に青くなる

とはいえ、さらにその後も約1か月にわたって打ち上げが続き、結局開き直る……!?

解説：上記の反省を踏まえ(?)、最近では、運動会終了後即現実に引き戻す措置がとられている模様。たとえば、2011年を例にあげると

9/11	修猷大運動会
9/12～13	代休（自主的なかたづけ作業・打ち上げ）
9/14	ブロック解散式 補習授業開始
9/15	センター試験説明会
9/17	土曜の出校日で、1～2年は授業
9/17～18	土日だが、3年生はマーク式模試
9/20～21	3年生は修猷模試
9/29～4日間	全校生徒 期末試験

打ち上げを1か月もやる余裕などなさそうです……。

※「大学入試センター試験」の前身である「大学共通第1次学力試験」(1979～1989年)のこと

★
ルール
19

十里行軍で マラソンランナーの 偉大さを知る

その名の通り、十里（約 40 キロ）を踏破。翌日は足の裏の皮が剥けちゃいました……。



応援部員は先頭で大団旗をもって歩く。「雨が降った年は大団旗が水を含んでちかっぱ重かった……」(元応援部員談)

解説：正式名称は「十里踏破遠足」。最近は通称も「十里遠足」なのだそうですが、やたらと力が入っていて、事前に募集された「十里スタッフ」（1～2年生）により、下見を10回近く繰り返しているとか。現代っ子にツボの行事なのでしょうか……。

✳
ルール
20

**館歌は「熱唱」するのが
スタンダードである**

館歌を歌うときは、無意識に応援練習で習った通りの気合あふれた歌い方に……。館歌を上手に斉唱できるのは、コーラス部員だけ（たぶん）。



貴重な六一会による斉唱の写真(200周年記念式典にて)

解説：厳粛な卒業式ではピアノ伴奏に合わせて「斉唱」する、という通例さえ破ったわが六一会。卒業式が近づくと怪しいムードが漂っているのを察知した(?)学校側から「卒業式の館歌は“斉唱”するように」とわざわざお達しがりましたが、当日は、塚田康広応援団長の「みんな～、気合入れて歌うぜ！いいや～！」の掛け声で思い切りスイッチが入ってしまい、ピアノ伴奏つきの「館歌熱唱」に。でも、おかげで本当に感動的な卒業式でした！

そして六一会以降、卒業式の「館歌斉唱」は事実上「館歌熱唱」として定着しています。つまり、六一会が歴史を変えたのです！学校側もあきらめたのか、現在はピアノ伴奏はつかないそうです（笑）。

＊
ルール
21

**修猷の3年間で
一番使用頻度の
高い言葉は
「気合」である**

とにかく、何かっていうと、このフレーズを口にしていました(笑)。



アニマル浜口



松岡修造

「気合」の使用頻度のイメージ

使用例：

「いくら何でも無理やる？」

「気合たい！」

「受験までもうすぐやな」

「気合たい！」

解説：そのほか、「オーッス！」「すまーん」などの使用頻度も高かったです。(ちなみに女子だけの場合は「オーッス！」ではなく「ハイッ」と答えてました。)

「すまーん」の使い方

- ① 男子同士で使う時⇒「すまーん！」(基本形)
- ② 女子への7ピラ披露で失敗した時⇒「すまんやったー！」(語尾は伸ばす)
- ③ 幹部が下級生に使う時⇒「すまんやった！」(語尾は短く言い切る)
- ④ とんでもない失敗をした時⇒「すまん、すまん、すまーん！」
(「すまーん！」の三段活用)

なお、相手が「すまーん！」を口にした場合は、それ以上責めてはいけないという暗黙のルールがありました。

例：「お前や？ バケツカルピスばひっくり返したのは！」

「すまん、すまん、すまーん！」

「……」

＊
ルール
22

西新を自分たちの街だと 思い込んでいる

西新には修猷の制服がいちばん似合う!?

解説：「修猷生は、西新をうろうろしている他校の生徒を、『なんでここにおると?』という目で見ると」という話がラジオで取り上げられたとか。

<おまけ> 西新グルメ 記憶カテスト

- Q.1 チャーハンとは別モノの、絶品ピラフの喫茶店の名前は？
- Q.2 ミートソースやナポリタンといった定番以外のメニューも充実していたバスタ専門店とは？
- Q.3 今はケーキの一大チェーン。六一会在校時は、土曜の女子ランチのメッカだったお店は？
- Q.4 蜂楽饅頭では饅頭よりもコレ！夏の風物詩でもあった、かき氷の人気メニューとは？
- Q.5 バツゲームとして食べさせられるほどのお味だったという噂の修猷学園人気(?)メニューとは？
- Q.6 修猷館の正門の正面にあるホットサンドが絶品の渋い喫茶店の名前は？
- Q.7 ポリウムたっぷりのお好み焼きを食べさせてくれたお店の名前は？

答えはWEBで!

修猷ルール

検索

重要!

＊
ルール
23

修猷で得た
友と思い出は
一生の宝物である

修猷ルール（六一会編）

平成24年6月15日発行

企画・制作：平成24年度東京修猷会総会実行委員会

（委員長 刀禰晋輔、副委員長 中川美穂）

編集：熊本りか（実行委員会 企画部）

イラスト：中川美穂

発行：六一会（昭和61年卒）



Shuyukan
Senior High School

